



市民文化の祭典

「芸術の秋、の到来です。あなたも参加しませんか。多くの市民の参加を待っています。」

文化祭

11月18日(火)～12月2日(火)
会場・社会福祉センターと大塚公民館
催し物・展示部門(絵画、書道、写真、俳句、短歌、生花、茶道)
舞台部門(音楽、日本舞踊、剣詩舞、箏曲、謡曲、着物着付)

美術展

11月30日(日)～12月7日(日)
会場・市民体育館
一般の部・洋画・工芸・書道、漫画、写真、日本画、、、
児童、生徒の部・図画(絵画、版画、デザイン)工作(工作、調塑、工芸、立体作品)習字(毛筆、条中、硬筆、ペン字)写真。

詩吟・剣詩舞で

精神文化の高揚を

昨年度より、南園市中央公民館文化活動として始めました詩吟剣詩舞も、はや二年目になりました。第一回目の文化祭には、未熟ではありましたが初出演をし、その後練習を重ね、本年度は高知市の文化祭に招かれて賛助出演をいたしました。
思いのほか好評をいただいたことにより、部員一同意を強くして、目下第二回目の南園市の文化祭を目標に練習に励んでおります。
詩歌は、人の心の表現であり、すぐれた詩歌は人類文化の遺産でもあります。
私たちの先達はこの詩歌を吟じ、

その吟により舞うことを考え、芸術としての向上進歩を目ざして精進努力を重ね、吟詠剣詩舞という我が国独自の高雅な芸道を育て上げてくれました。
吟剣詩舞道は、礼と節をその心とし情操を高めると共に、日本民族の心を探究しながら自己の陶冶を志向するものです。
私たちは、この価値ある道を受け継いだことに大きな誇りを持ち、この芸道をぜひ皆さんにもおススメし、ともに精神文化の高揚に励みたいと思っております。
講師の長崎包月先生は、この道の大家であり、多数の子弟の育成

映画「砂の器」を見る

重厚な旋律の中に、いたましい宿命を見る
青年作曲家の腕裏にうずまく運命の嵐よ
くだける波のように
とろくはやてのように
はげしく悲慘のかの日を思ふ
悲しい父のおもかげも
ただ旋律の上をつっぱる

井上英子(大埔)

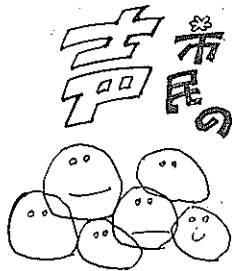
刈谷益子(後免)

広報委員の目



国際婦人年

今年一九七五年は、国連が全世界の婦人の地位向上のため宣言した国際婦人年です。テーマと内容は次のようになっています。
平等男女平等の促進と政策決定への婦人の参加
発展婦人の能力開発と経済、社会、文化の発展への婦人参加
平和国際友好と世界平和への婦人の貢献
南園市でも去る六月二十八日に、国際婦人年南園市大会が盛大に開かれました。市内全域の婦人が一堂に会し、思想信条主義主張を越えて、意志の疎通を計り、共通の話題を見つけて婦人の地位向上のため一歩でも前進しようということが目的でした。
各種団体の協力による劇「女の道よなげわし」の中で、中心テーマがわかりやすく解説され、婦人解放のため苦難の道を歩まれた先駆者へのび、昭和二十一年



交通事故の

事後処理は

これは市政には直接関係のない事かも知れませんが、後のことが環境整備の方にもつながることでありますのでお話をいたします。
私の家は国道五十五号線沿いにあり、また近くに前浜通りの三叉路があり月一件くらいの割合で自動車事故があります。先日朝八時ごろ、四十五重衝突があり、車のガラスが道の中央にたくさん飛散っていました。
朝夕、小中学生が自転車を通るところです。早く後仕末をした方がいいと思いましたが警察の方もいろいろ調べなくてはならないから、中へ入ってはいかん、と言われるし、私もいつ済むかわからないのを立って待つわけにもいかないので自宅に帰って、また次に現場へ出て行ってみますと警察の方も

広報なんこくではあなたの投稿をおまわししています。市政に関する建設的意見などをお寄せください。
あて先・大埔甲三三〇一
企画財政課内、広報委員会

帰った後で、たくさん飛散ったガラスの破片を他の車がザザと散らかしながら通っている仕末でした。日中はとても危なく、掃除のしようもありません。そこを通過したのはねた破片が当たってとても痛い思いもしましたし、また子どもが自転車通学中に転倒して怪我でもしたら、思わずヒヤ汗が出たことでした。
結局、翌日早朝、まだ車の通らない時に掃除をしましたが、このような場合の事故の事後処理は誰がするのでしょうか。
現場検証がすめば警察の方が後仕末してくれるなり、また、近所の者に声をかけてくださりさえすれば私たちは後仕末をいたしません。後をばたらかして行かれたのでは道路もきたないし、それより大変危険ですので、その仕をばつきりしていただきたいと思えます。

(市政モニター・H)

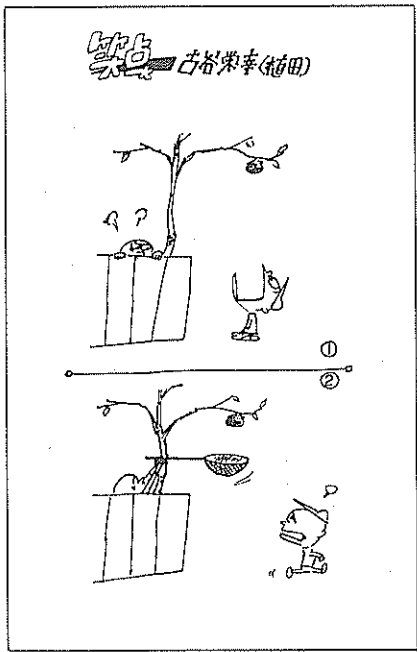
南国歌壇

晴天に猫の五匹はたわむれて
とんぼのかけを玉に取りおり
里改田 楠瀬米井
受話機に息子の温もりの言葉きて
夫呼びやりつ希のかけら
前浜 沢田千恵子

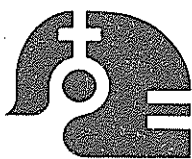
南国俳壇

虹と見し己が臍に別れ告ぐ
秋天に城を画きて刀研ぐ
老兵の死後も海鳴り秋聲
綿虫の流れ早まりつつ消えぬ
見付かれは忘れ扇となつてみし
伸び足りて白く続けりそば畑
稲穂を踏み刈進むコンバイン
次々と穴に米引く宮の蟻
稲扱ぐや追っかけ雨にまた天幕

和田ひでみ(岩村句会)
和田 幸郎()
西川 洋水()
高橋 以登(国分梵鐘会)
竹内とし子()
林 光江()
与田 善信(波俳句会)
西村 常井()
竹島いはほ()



家族の日(福田)



国際婦人年シンボルマーク

の総選挙で初めて手にした一票に感激の涙を流しました。
戦後婦人の活動はめざましく、各方面に進出し社会の進歩に貢献したけれど、婦人の地位は必ずしも確立していないと今後の問題点を確認して拍手かっさいで幕となりました。
男女平等には、婦人の社会的役割と家庭的役割の調和が常にあるとあっておりますが、育児休業が法制化されたことは大きな前進であると思えます。婦人の権利を確立するためには婦人たちが自身が権利について学び、行動しなければなりません。
過日の市議選運動の期間中に、広報車から流れて来る婦人の力強い声を聞きながら、近い将来に、この方達がみずから立候補され、堂々の論陣を張られたならば、素晴らしいなあ……と考えました。
婦人みなさん頑張りましょう。

(浜田)